



WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

= 築瀬 敦会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30～ ■例会場:ホテルシーズン日南

■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内

TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3401例会	No.20	2024.12.11	
点鐘・ロータリーソング	18時30分	「我ら日本のロータリアン」	
四つのテスト		日高章太郎君	
例会行事		年次総会	

会長時間



今日は先日の会長時間で世界ポリオデーということでお話したと被ってしまうところが多いかもしれませんが、疾病予防と治療月間ということでお話しますのでご容赦ください。国際ロータリーは、世界中の地域社会における奉仕活動を通じて社会貢献を行っているわけですが、特に「疾病予防と治療」はその主要な活動の一つです。疾病予防の始まりは、国際ロータリーの疾病予防への取り組みは、先日もう少しお話ししましたが、1950年代にさかのぼります。この頃、ロータリークラブは地域社会で健康問題に関心を持ち、特にポリオの予防に力を入れるようになりました。国際ロータリーが本格的に疾病予防の活動を開始したのは、

1985年に「ポリオ撲滅キャンペーン」を立ち上げたことからです。1979年に、フィリピンで最初のポリオ予防接種プロジェクトが、実施されたことは先日もお話ししました。ロータリーは、ポリオを完全に根絶するという目標を掲げ、世界中で数百万ドルを投じてポリオワクチンの接種を推進しました。このキャンペーンは、後に「ポリオプラス」という名称で広まりました。国際ロータリーがポリオ撲滅に本格的に取り組み始めた1980年代には、世界中でポリオが依然として広く蔓延していました。ポリオは、特に発展途上国において、麻痺や死を引き起こす原因となっており、特に子どもたちの健康に深刻な影響を与えていましたので、ロータリーは、単にワクチンを提供するだけでなく、これを広く普及させるための教育活動やインフラ整備など、多方面にわたる活動を展開しました。1985年、国際ロータリーは「ポリオプラス」キャンペーンを正式に開始し、この活動は、世界の保健機関、政府、NGOと協力し、ポリオワクチンの接種活動を実施し、さらにポリオの予防に関する認知度向上を図り、世界保健機関(WHO)、ユニセフ、アメリカ疾病予防管理センター(CDC)などの機関と連携し、世界規模でのポリオ根絶に向けた取り組みを加速させました。ポリオが流行していた1980年代の初めには、世界で35万人以上の子どもがポリオに感染していましたが、2020年時点で世界のポリオ患者は数十人にまで減少しました。特に、アフリカ大陸では、2016年にナイジェリアで最後の野生ポリオウイルスの症例が報告された後、ポリオは「地域的に根絶」されたと認定されました。現在は、ポリオ撲滅に向けた活動は依然として続いており、世界のポリオ症例は依然として限定的に残っています。2022年の時点でも、アフガニスタンやパキスタンなど一部の国ではポリオが完全には根絶されていないため、引き続き支援を行っています。ポリオ撲滅に加えて、疾病予防に関してさまざまな活動を行っています。マラリアの予防にも積極的に関わっており、蚊の駆除活動や、マラリアワクチンの普及を支援する取り組みが進められています。HIV/AIDSに関しても啓発活動や予防、治療支援活動も行っており、特にアフリカなどの地域

で HIV/AIDS の撲滅に向けた活動を行っています。結核の予防や治療に向けた支援も行っています。結核の予防と治療に関する認知度向上のために、教育キャンペーンを行って地域社会で結核についての正しい知識を普及させ、早期に医療機関を受診することの重要性を伝える活動といった結核に関する啓発活動をしています。治療が難しい薬剤耐性結核（MDR-TB）の患者に対して、治療薬の提供や治療のモニタリングを行い、薬剤耐性結核への対応に取り組んでいます。薬剤耐性結核（MDR-TB）は、従来の治療法に効かない結核菌による感染で、治療が非常に困難であるため、ロータリーは、薬剤耐性結核の予防と治療のための資金を提供したり、治療法の改善に向けた支援を行っています。薬剤耐性結核（MDR-TB）が拡大している地域では、ロータリーが新しい診断法を導入し、耐性菌の早期発見と治療を促進しているといった活動もあるようです。こういった取り組みにより、結核患者の治療と予防に関する意識が高まり、特に発展途上国における結核の発症率を抑制するための効果的な施策が進んでいます。具体的な成果としては、結核の早期発見率の向上、患者への治療の提供、そして結核に関する啓発活動が広がることで、感染の拡大を防ぐ手助けとなっているということです。

幹事報告

特にありませんでした。

スマイル

築瀬 敦 君 12月7日に鹿児島で、先日、例会に顔を出した次男の結婚式がありました。列席いただいた皆様に「いい結婚式でした」と言っていました。家族が増え大変うれしいです。

古澤 昌子君 仕込みが終わりました。良い焼酎が醸せたと思います。「伝統的酒づくり」がユネスコに登録されました。干支壺の様子が全国（NHK）に流れました。ありがとうございます。

= 2024-25 年度年次総会 =

定足数の確認 会員30名中24名の出席にて総会成立

議長選出 築瀬 敦会長

報告事項 2023-24 年度 会計報告及び監査報告

議案 第1号議案 会長ノミニ選挙の件・・・全員一致で承認

第2号議案 次年度の役員及び理事の選挙の件・・・全員一致で承認

《役員》

会長：斉藤篤史君 直前会長：築瀬 敦君 副会長：入中英雄君 幹事：菊池希樹君 会計：富満正哉君 会長 EL：菊池希樹君

《理事》

榎木田大資君、日高章太郎君、井野畑善順君、西島元利君、竹井崇利君、豊田裕康君

第3号議案 ノミニデグジネート選任方法に関する定め・・・全員一致で承認

= 忘年会 =



次年度会長の乾杯



恒例のオークションスタート



森伊蔵オークション



落札



出席率報告

落札者による締め挨拶

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率(%)
今週	30	8 (3)	27	24	2	1	26	96.29%
出席免除	落丸、清水、渡邊							
先取MU	甲斐、村社							
欠席	榎木田							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斉藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください